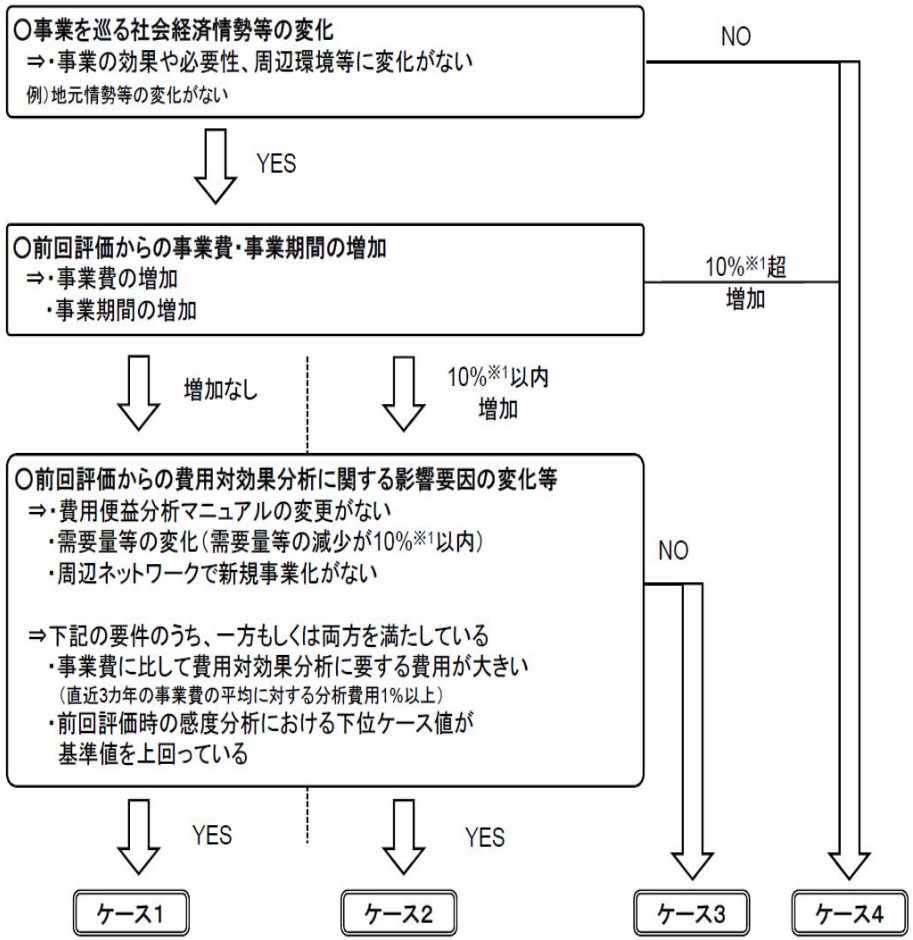
H29道路事業における再評価の重点化・効率化

再評価の重点化・効率化に係る確認フロー



再評価の重点化・効率化の取り組み概要

	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
社会経済情勢等の変化	無し	無し	無し	有り
事業費・事業期間	増加無し	10%※1以内増加	増加無し 又は 10%※1以内増加	10%※1超増加
B/C影響要因変化　等	無し	無し	有り	－
資料	省略※2	省略※2、※3	省略※2、※3	作成
審議区分	要点	要点※3	要点※3	重点
費用対効果分析	省略	省略	実施	実施

※1　感度分析の範囲を参考に記載しているが、感度分析の変動幅が別に設定されている場合には、その値を使用することができる。
※2　事業の進捗状況、進捗の見通しのみを更新、部分供用等があり「今後の評価に必要なデータの取得が必要な場合」はデータの取得のみ実施。
※3　事業費・事業期間・B/C影響要因の変化状況を踏まえ、必要に応じ、資料作成・重点審議を実施。

※　<u>資料・費用対効果分析の省略は、2回以上連続して実施しない。</u>
※　<u>審議方法については、各事業評価監視委員会が決定する。</u>
（国土交通省所管公共事業の再評価実施要領　第6「4　事業評価監視委員会における審議方法」より）